



こーひーぶれいく

## Want It All

外山 宏

Toyama Hiroshi

この言葉でピンとくるのは、よっぽどの野球好き、あるいはロックの音楽好きだと思います。これはメジャーリーグ（MLB）のトロント・ブルージェイズの合言葉であり、もともとはロックバンドのQueenの楽曲タイトルに由来しています。目標に向かって挑戦し続けること、勝者であることの強い欲求が反映されています。2025年のMLBワールドシリーズはドジャーズとブルージェイズの対戦で日本でも大変盛り上がりました。地上波のテレビでもWant It AllのTシャツを着たブルージェイズのファンが紹介されていました。筆者は1991年にトロント大学マウントサイナイ病院放射線科に留学した時以来ブルージェイズのファンで、筆者が帰国した年に2年連続でワールドシリーズに出場した時から今回、33年ぶりの進出でしたので熱心に応援しました。ドジャーズの大谷、山本、佐々木の日本人トリオの活躍で残念な結果になりましたが、日本でこれほどブルージェイズの試合を見られたのは初めてで、歴史に残るシリーズという評判だったのでうれしかったです。留学中は何度も野球場（当時はスカイドーム）に足を運びました。テレビが無かったのでラジオで野球中継をよく聞いていましたが、英語の聞き取りの向上に役に立ちました。日本では、子供の頃から地元の中日ドラゴンズのファンを続けています。放射線科講座教授在任中は年2〜3回ぐらいドームに行っていましたが、夜や休日には何か作業をしながらラジオ中継をよく聞いていました。セラノスティクスセンター開設にあわせて名古屋大学からホットラボ担当としてドラゴンズファンの山口博司先生が着任したので、サイクロトロン・セラノスティクスセンター昇竜会を立ち上げました。筆者



写真 宮崎の居酒屋・紀助で中日ドラゴンズ中村奈一輝選手ご両親（後列左）、鶴田記念クリニックの皆さんとの記念撮影（筆者は後列中央）

は2024年3月に講座教授を退任し、特命教授として勤務していますが、ドームツアーを企画して年4〜5回ぐらい、都合のよい人5人ぐらいでオリジナル手ぬぐいを掲げて応援しています。また、現在は土曜日に終日PET業務があるので金曜日を休日としており、他の人が働いている間に1人で楽しむこととして、昼間にナゴヤ球場で2軍の試合観戦もしています。将来有望な若手や、調整中の1軍の選手も出場するので結構楽しいです。

毎年10月に宮崎で開催される若手中心のフェニックスリーグにも、退任後、週末と祝日を利用して参戦しました。宮崎は2023年にNIHの留学から帰国した時に、大学時代ラグビー部の後輩であった鶴田明土先生（故人）から「PETセンターを作ったので手伝って欲しい」と言われ、藤田医科大学にPETが導入される前だったため、勉強も兼ねて時々勤務していたつながりがあります。以来、野球好きの技師さんの車に乗せてもらって、県内のいろいろな球場で開催される試合を楽しんでいます。

2025年、宮崎商業から有望な新人（中村奈一輝選手）がドラゴンズに入団したので特に応援しています。実家は居酒屋（紀助）で、地鶏の炭火焼と芋焼酎がおすすめです。宮崎市内の店ですが、ドアラの人形やドラゴンズのユニホーム、選手のサインが飾ってあります（写真）。学会等で宮崎に行かれる方にはお勧めします。2025年ドラゴンズのファーム（2軍）は日本一になりましたので、2026年はぜひ1軍の優勝、ブルージェイズのワールドチャンピオンを願っています。Want It All !!

（藤田医科大学）